

"Let's step outside."

島本 卓

私は5年前まで、通院以外での外出はほとんどしたことがありませんでした。外に出たくなかったのではなく、公共交通機関を利用する際に「乗り遅れたらどうしよう」、「移動中に体調を崩したらどうしよう」失敗することへの不安や 毎日のように「障がいがあっても自分らしく生きられるのか」と考えていました。

頸髄損傷の先輩から「障がいがあっても諦めることはない」、「ひとりじゃない」と教えてもらった時は悩んでいた壁が崩れました。自分らしい生き方を見つけたくくなりました。今となっては「外に出る不安」から「外に出る楽しさ」に思えるように変化していきました。

一人外出も楽しんでます。

友達と待ち合わせをして食事に行ったり、服を買いにぶらっと神戸へと受傷前と同じように自分の時間を過ごせるようになってきました。行く先々でいろんな発見や出会いがあり、時には計画立て直しながら時も、もちろんありますよ。でも、「失敗に恐れぬ」失敗や間違いから得られることも実感することができた。障がい者として「今」を生きることを、頸髄損傷者として情報発信をしていきたいと思っている。

突き進むことが楽しい、それは「仲間」がいるから。

も く じ

特集「全国頸髄損傷者連絡会 全国総会 2015 東京大会」

(米田、山本、島本卓、土田、O、大竹、鴨治、学生ボランティア)	2
活動報告「しあわせの村宿泊体験合宿」 (島本卓、K、T、学生ボランティア)	25
会員報告「キャンプを楽しもう！」 (土田浩敬)	33
行事のお知らせ	35
入会案内	37

